

金鷲旗高校柔道大会で快挙

南筑女子が2連覇



決勝戦で大成高校の佐藤選手(下)から技ありを奪う素根選手。平成30年7月23日(西日本新聞社提供)

東京五輪出場を期待

久留米市立南筑高校の女子柔道部が、7月21日から24日まで、福岡市で開かれた「平成30年度金鷲旗高校柔道大会」の女子の部で優勝し、2連覇の快挙を達成しました。

昨年の決勝で戦った夙川学院と準決勝で対戦。主将の素根輝選手が昨年同様、5人抜きを達成。決勝の大成高校戦でも3人を抜き、勝ちを収めました。

8月1日、2連覇を報告するため、江頭彰校長と松尾浩一監督、出場メンバー7人が、大久保勉市長を表敬訪問しました。市長は「この中から東京五輪に出場する選手が出れば、市内の子どもたちの目標になる。2020年が楽しみです。これからも頑張ってください」とエールを送りました。

素根選手は、「一人一人が力を発揮し、自分の役割を果たした結果だと思えます」と、大会を振り返ります。「勝ち続けるための重圧はすごい。それに打ち勝つには努力しかありません。私も一緒にこれからも頑張りたい」と抱負を交えて話しました。

南筑高校女子柔道部

- 3年 大澤彩乃 (初段)
- 古賀彩音 (初段)
- 素根輝 (三段)
- 2年 大久保桜咲 (初段)
- 古賀若菜 (初段)
- 1年 中嶋涼葉 (初段)
- 原口結 (初段)

◎学校教育課(☎0942・30・9217、FAX0942・30・9719)



大久保市長(後列中央)との記念撮影で、2連覇の喜びをVサインで表現

大会を振り返り、3連覇への意気込みを語る松尾監督



攻め抜く柔道 これからも

「監督の立場ではありますが、選手たちに敬意を表したい。松尾監督は、大久保市長への報告をこう締めくくりました。

「昨年、素根選手が大会史上初の決勝5人抜きで優勝。注目が集まる中、チームに厳しい練習を課したと松尾監督は言います。「全員がものすごいプレッシャーの中で、それを力に変え、よく戦ってくれました」。3連覇が期待される来年に向け「昨年と今年を経験した選手たちは、勝つ喜びを知っている。2連覇したチームとして、最後まで攻め抜く柔道を見せたい」と表情を引き締めました。

環境交流プラザサポーター募集

楽しんでエコを広める

縁の下の力持ち

宮ノ陣クリーンセンター環境交流プラザは、誰もが楽しみながら環境について学べる施設です。多くの人にエコに関心を持ってもらうため、さまざまなイベントや講座を開いています。

それを支えるのが、ボランティアで活動する環境交流プラザサポーター。イベントの企画やサポート、講座の講師、清掃工場の見学会など、自分の得意な分野で楽しみながらエコを広める活動をしています。

締め切りは12月27日

活動内容施設でのイベントや講座の企画・サポート、工場見学案内、展示物の作成など

◎対象来年4月1日時点で18歳以上の人



古はがきで作る紙飛行機講座は、サポーターの加藤龍利さん(左端)の企画です

久留米フェスティバル in 天神

福岡都市圏へ久留米を売り込む

移住コーナーを充実

9月2日(日)10時~17時に、福岡市役所ふれあい広場で「久留米フェスティバル in 天神」を開催します。福岡市とその周辺に住んでいる人たちに、久留米の食や観光、文化芸術、住みやすさなど、さまざま

な魅力を身近に感じてもらい、実際に訪れたり、移住したりしてもらおうが目的です。

3回目の今年は、移住コーナーが充実。相談に来た人が、久留米での暮らしを現実的に考えられるよう、住宅や仕事の具体的な情報を紹介します。

福岡市よりも安い住宅価格や家賃、交通の利便性など暮らしやすさをPRし、実際に移住してもらえよう、アドバイスします。

ふるさと大使も出演

会場では、焼き鳥、とんこつラーメン、筑後うどんなどのB級グルメや地酒などを提供する他、市美術館、シテイプラザなどの文化情報やフルーツ狩りなどの観光情報を発信します。ステージでは、くるめふるさと大使の植田真梨恵さんやCOOL M・Bのライブ、市イメージキャラ



くるっぽも九州男児新鮮組と一緒に切れのあるダンスを見せます

クターくるっぽと九州男児新鮮組のダンスなどを披露します。

アンケートに答えると久留米の特産品などが当たる抽選会も行います。

◎久留米シテイプロモーション実行委員会(シテイプロモーション課内、☎0942・30・9228、FAX0942・30・9703)